

globalforce.link 通信 [2016.1.14.]

[illegible]

グローバルフォース・ドット・リンク通信

(第 0016 号)

2016.1.14.

.....

- ・globalforce(高度外国人)に関連する人財活用のエッセンス、採用、教育
- ・本音トーク、法令関連にいたるまで、さまざまな情報を発信します。

.....

皆さま、お元気様でございます。

異文化コミュニケーション研究所(R)所長の島崎です。

このお正月休みに、御殿場のアウトレットに遊びに行きました。

すごい混みようでしたが、外国からの観光客の多いこと！お客さんの30%は

外国人だと思います(^.^)。中国語、タガログ語(フィリピンの言語)、タイ

語、韓国語、英語といろんな言葉が、あちらこちらから聞こえてきました。

20代前半くらいの若い外国人も多くて、アジアの国々も豊かになってきたの

だな～と感じました。

それから気が付いてみると、店員さんも外国人が増えていましたし、日本人も

意外に英語を使って商品の説明をしている。(^^)

いつの間にか、日本も変わってきていますね。変化に適応していかなくてはな

りませんね。(^^)

■トピックス■

1. 今週のフォーカス「異文化」
2. 勉強会・セミナー等のご案内
3. 摩訶珍(まかちん)編集後記

11

| 1 | 今週のフォーカス「異文化」

U

当研究所では、異文化コミュニケーションという分野にフォーカスして世界を見ていますが、ISISの台頭に伴い、世界が悪い方向に進んでいるように感じています。

敵の定義付けに「異文化」という考え方が使われているからです。何があろうとも、イスラムという異文化に対して、世界中が集団的ヒステリーを起さないことを祈るばかりです。

文化とは『集団の個性』と言い換えても良いと考えています。

世界に何億人という人がいますが、「同じ人」はいません。つまり、人の数だけ「個性」があることになります。

「個性」はある程度パターン化はできるでしょうが、それは常に変動しています。また、さまざまなパターンが結合したり、分裂したりしている複合的なものとも言えます。よってパターン化したとしても、参考にはできませんが、それで正しい分析ができると考えると、過ちを犯してしまうこともあります。極端な話し、「○○のタイプの人には犯罪を起こしやすい」というパターン化はできますが、「○○のタイプの人には犯罪を起こしにくい」というパターン化はできません。それは、犯罪者はどのタイプにもいるからです。

私たちは人をパターン化することで、多くの問題を生んできました。ナチスのユダヤ人の大虐殺や、中国の文化大革命における知識層への弾圧などは、その典型例です。

異文化の人をパターン化してはいけません。それは偏見となります。

世界の平和のために、私たちが気を付けなくてはならないのは、一人一人の個性をお互いが尊重し合うことで社会が成り立つように、国際社会においても異文化を尊重し合いコミュニケーションに心を使うことだと思います。

平和を維持し続けなくてはなりません。

「」

｜ 2 ｜ 勉強会・セミナー等のご案内 [事前申し込み要]

「」

ちょうど来週の今日、1月21日(木)が勉強会の日となります。

ゲストとして株式会社NTTデータの人事部 兼 グローバル事業本部グローバルHR担当部長の田中 一郎さまにご登壇頂きます。

タイトル:「多国籍体制の組織づくり～M&Aで獲得した海外人材の活用」です。

先日、田中さまとお話をしたところ、日本の企業に「喝」を入れる旨のお話をしておりました。私もまさに同意見です。多様性が重要だと考えるなら、日本の企業は真剣に「異文化の許容力」を高めてはなりません。

元気なお話を聞くことが出来そうで、楽しみです。

お申込みがまだの方は、是非、お早めにお申し込みください。

それから、「30分間で外国人とコミュニケーションができる”英語もどき”」もお楽しみに！

」」 Tel:045-307-8248(代) FAX:045-461-1577

」 代表取締役社長 所長 島崎ふみひこ

(当研究所は、株式会社フィギュアネットの事業部です。)